

## これまでの経緯について

### 1. 福岡市及び近郊における周産期医療連絡会議の開催

福岡市及び近郊における周産期医療体制の充実を図るため、新こども病院が果たすべき医療機能及び各医療機関の連携のあり方について検討することを目的として、平成22年11月15日に第1回連絡会議を開催し、平成23年11月9日までに5回開催した。

### 2. 周産期医療の課題と対策案

周産期医療に関する課題を整理するとともに、課題解決のためにとり得る対策案をまとめ、平成23年2月9日に福岡県医療指導課に、3月30日に福岡県周産期医療協議会にそれぞれ報告・提案をした。(別紙<sup>参考</sup>参照)

#### (産科部門の課題と対策案)

##### (1) 産科病床不足について

- ア 周産期医療を担う施設における産科病床の増床
- イ MFICUの増床

##### (2) 産婦人科医師のマンパワー不足、オーバーワークについて

- ア 産婦人科医師の労働環境の整備
- イ 産科・婦人科の救急体制、医療体制の整備
  - ・産科における一次・二次・三次医療施設の役割分担の明確化と連携体制の確立
  - ・一次医療施設の機能活用に伴うバックアップ体制としての開放型病床の設置、オープン・セミオープンシステムの導入
  - ・円滑な母胎搬送・新生児搬送のためのトリアージ体制の確立
  - ・先天性心疾患等、特定の疾患を持つ母胎の分娩に対応する病院を専門分化
  - ・婦人科救急体制の整備
  - ・産科・婦人科における地域医療連携パスの導入

#### (新生児部門の課題と対策案)

省 略

### 3. 婦人科救急医療体制検討会の設置

新こども病院の整備にあわせて、産科病床の増設やオープンシステムの導入を検討していくことが決定され、次に優先的に解決すべき課題として、婦人科救急における一次・二次・三次医療施設の役割分担を明確にするとともに、各医療施設間の連携体制の確立を図ることが決定された。